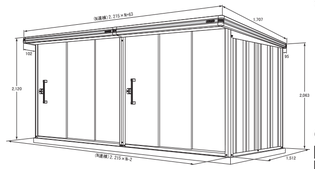
ヨド物置 エルモ 連続型

組立説明書 LLD(S)-2215型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。



※この組立説明書は2215×2連棟の図で説明しています、
3連棟以上の場合も組立手順は同じです。
よくご確認の上、組立を行ってください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●設置場所の制限

△注意

1.建物の屋上には設置しないでください。
2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
4.崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5.給湯器の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

1.アンカー工事等の転倒防止工事を行ってください。
2.ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
4.重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
5.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
6.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
7.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

●施工時の注意点

△注意

1.まずご注文通りの商品かどうかを以下の梱包組み合わせ表・梱包内容表にて確認してください。
2.部材の共通化のため、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組み立ててください。
3.部材名称の左右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を調整してください。
5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)

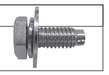
・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6ボルト、アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキーレンチ等工具
・+ドライバー (右側開口にする場合のみ必要)・W1/2用アンカーボルト ・ナット ・ワッシャー

●使用ビス(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)

ボルト(白) M6×15

15 間柱前取付け時

ボルト(スプリングワッシャー付) M6×15



26 その他部品の取付け時

M6ナット(W16)

梱包組合せ表

機 種		2215型 基本棟用	2215型 追加棟用
部 品		LL5-0142	LL5-0192
枠	上枠前後	LM5-0205	LM5-0205
	下枠前後	LM5-0255	LM5-0255
	上枠左右	LM5-0303	-
	下枠左右	LM5-0353	-
	上枠中間	-	LL5-1603
	下枠中間	-	LL5-1653
柱		LM5-0411	LL5-7405
間柱		LM5-1468	-
鼻隠し		LM5-1105	LM5-1105
補強	一般型	LM5-0531	LM5-0531
	積雪型	LM5-3531	LM5-3531

機 種	2215型 基本棟用	2215型 追加棟用
床	LM5-0715	LM5-0715
屋根	LM5-0924	LM5-0924
壁	使用梱包:LM5-1003 LM5-1004	
	必要な部材数量:棟数×5+2枚	
袖壁	LM5-1055	LM5-1055
扉	LM5-1705	LM5-1705
棚板	LM5-1903	LM5-1903

棟数により必要な数量が異なります。その為棟数により使用しない梱包がある場合があります。

梱包内容表

●部品
LL5-0142

部材名	数量
ELD 内アンカー金具(A)	4
ELD 内アンカー金具 L	4
ELD 間柱固定金具	2
ボルト(スプリングワッシャー付) M 6×15	5
ELD Tレールキャップ	1
EL 鍵孔フサギ	1
ELD 屋根隙間隠し A	2
ELD 屋根隙間隠し B	1
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5 年	1
ボルト M 6×15 (白)	166
ナット M 6×16 用	2

LL5-0192

部材名	数量
LLD 下枠接続金具前中 AS	1
LLD 下枠接続金具後中 AS	1
ELD 間柱固定金具	4
LLD もや固定金具	1
LLD 柱間柱支持金具 AS	1
ELD 鼻隠し前接続金具	1
ELD 鼻隠し後接続金具	1
ELD 鼻隠し前連結化粧	1
ボルト(スプリングワッシャー付) M 6×15	5
ELD Tレールキャップ	1
EL 鍵孔フサギ	1
ELD 屋根隙間隠し A	2
ELD 屋根隙間隠し B	1
取扱説明書	1
保証書 5 年	1
ボルトM6×15 (白)	168

●上枠前後
LM5-0205

部材名	数量
ELD 上枠前 AS-A3.0	1
ELD 上枠後 A3.0	1

●下枠前後
LM5-0255

部材名	数量
ELD 下枠前 AS-A3.0	1
ELD 下枠後 A3.0	1
ELD 床押え A3.0	2

●上枠左右
LM5-0303

部材名	数量
ELD 上枠左 A2.0	1
ELD 上枠右 A2.0	1

●下枠左右
LM5-0353

部材名	数量
ELD 下枠側 A2.0 (左)	1
ELD 下枠側 A2.0 (右)	1

●上枠中間
LL5-1603

部材名	数量
LLD 上枠中 (S) AS A2.0	1
ELD 屋根連結材 A2.0	1

●下枠中間
LL5-1653

部材名	数量
LLD 下枠中 AS A2.0	1
LLD 間柱切り間柱 中 2.0 L	1

●柱
LM5-0411

部材名	数量
ELD 柱前 AS- 右 L	1
ELD 柱前 AS- 左 L	1
ELD 柱後 L	2
ELD 戸当り (M) L	1

LL5-7405

部材名	数量
LLD 中柱前 AS - A	1
LLD 中柱前 AS - B	1
LLD 中柱後 A	1
LLD 中柱後 AS - B	1
ELD 間柱前 L	1
ELD 間柱後 L	2
ELD 戸当り (M) L	1
LLC 柱前中補強金具	1

●間柱
LM5-1468

部材名	数量
ELD 間柱 前 L	1
ELD 間柱 後 L	2
ELD 間柱 側中 2.0L	2

●鼻隠し
LM5-1105

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A3.0	1
ELD 鼻隠し後 A3.0	1

●補強
LM5-0531

部材名	数量
ELD もや A-A3.0 DLN	1
ELD 床補強 A3.0	1

LM5-3531

部材名	数量
ELD もや C-A3.0S DLS	1
ELD 床補強 A3.0	1

●床
LM5-0715

部材名	数量
ELD 床板 A2.0	6

●屋根
LM5-0924

部材名	数量
ELD 屋根 (70) A2.0	3

●壁
LM5-1003

部材名	数量
ELD 壁パネル L-A	3

LM5-1004

部材名	数量
ELD 壁パネル L-A	4

●袖壁
LM5-1055

部材名	数量
ELD 袖壁 L-A	1

●扉
LM5-1705

部材名	数量
ELD 扉前 L-A	1
ELD 扉後 L-A	1
ELD 扉支持材 AS-A	1
ボルト M6 × 15 (白)	3
ELD 取手	1
ELD 連動棒	1
ELD 戸車上昇防止プレート AS	3

●棚板
LM5-1903

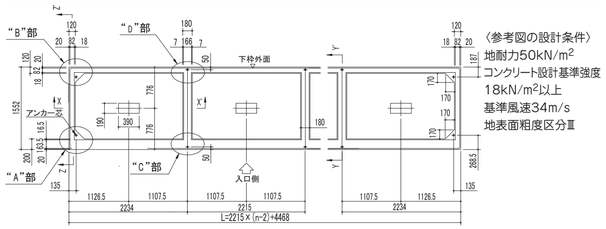
部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 N 右	3
ELC 棚受 N 左	3

○部材名称にはA2.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。

1 基礎施工例(参考図)

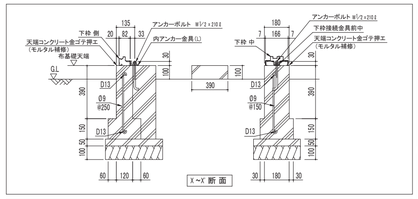
参考図は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。

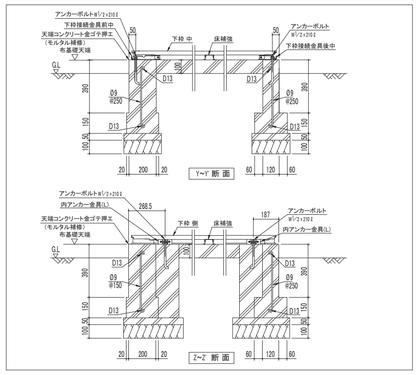
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

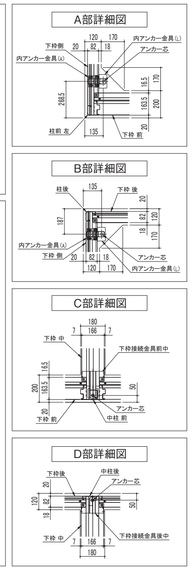


(参考図の設計条件)
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

基礎伏図 (n=連棟数)



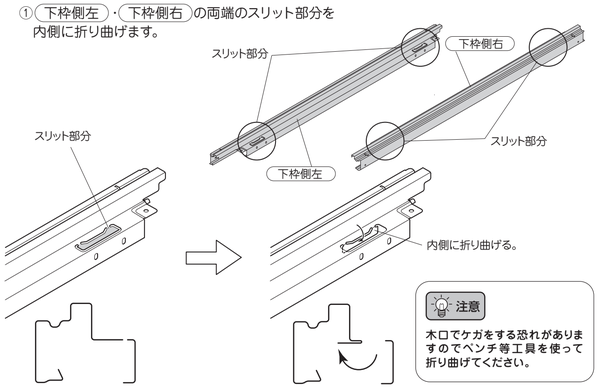




2 前工程

使用梱包	LM5-0353
使用ボルト数	0本

①(下枠側左)・(下枠側右)の両端のスリット部分を内側に折り曲げます。

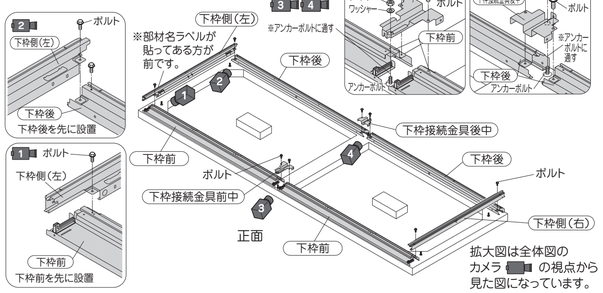


注意
木口でケガをする恐れがありますのでペンチ等工具を使って折り曲げてください。

3 下枠接続金具・下枠前後・下枠側の組立

使用梱包	LL5-0192
	LM5-0255
	LM5-0353
使用ボルト数	8本

①(下枠前)・(下枠後)を基礎の上に設置します。
②(下枠側)を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。1 2
③(下枠接続金具前中)、(下枠接続金具後中)のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、下枠前・後の上からかぶせてボルト止めします。併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。3 4

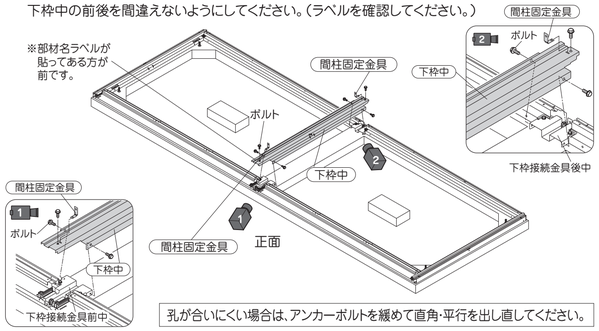


拡大図は全体図のカメラ の視点から見た図になっています。

4 下枠中の取付け

使用梱包	LL5-0192
	LL5-1653
使用ボルト数	6本

①(間柱固定金具)を(下枠中)の前後2ヶ所に差込み、ボルトで固定します。
②下枠中を下枠接続金具前中、下枠接続金具後中の上からかぶせて、ボルトで固定します。1 2
下枠中の前後を間違えないようにしてください。(ラベルを確認してください。)

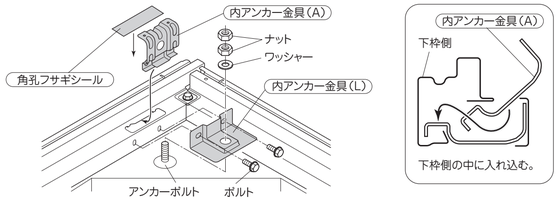


孔が合いにくい場合は、アンカーボルトを緩めて直角・平行を出し直してください。

5 アンカーボルトの固定(両側面のみ)

使用梱包	LL5-0142
使用ボルト数	8本

①(内アンカー金具(A))を下枠側の前工程で加工した穴から差し込んで下枠側の中に入れ込みます。(4か所)
②前工程で加工した(内アンカー金具(L))をアンカーボルトに通してボルト止めします。
併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。
③内アンカー金具(A)を差し込んだ穴を付属の(角孔フサギシール)を貼り付けて塞ぎます。



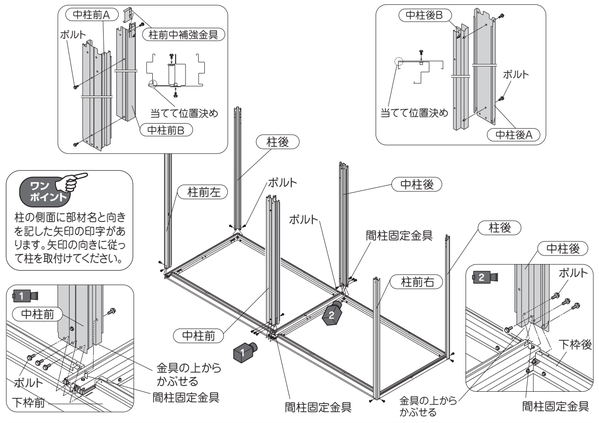
6 柱の取付け

△注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

使用梱包	LL5-0192
	LM5-0411
	LL5-7405
使用ボルト数	21本

①(柱前左)・(柱後)を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。
②(中柱前A)と(中柱前B)をボルトで固定し、(中柱前)とします。

中柱後Bの上部には(柱前中補強金具)を取付けます。
③(中柱後A)と(中柱後B)をボルトで固定し、(中柱後)とします。
④中柱前・中柱後を、間柱固定金具および下枠にボルトで固定します。1 2

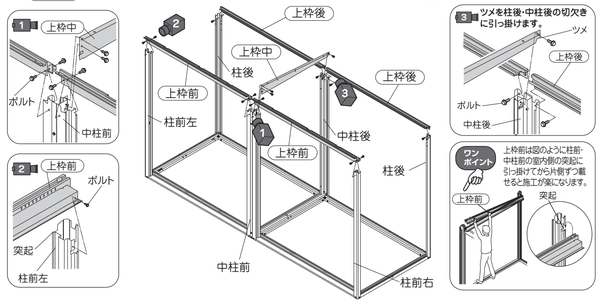


ワンポイント
柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

7 上枠中・上枠前後の取付け

使用梱包	LM5-0205
	LL5-1603
使用ボルト数	15本

①(上枠中)を中柱前および中柱後のツメに引掛けて一時預けし、ボルトで固定します。
②(上枠前)を柱前左、柱前右、中柱前の突起に差し込んでボルト止めします。1 2
③(上枠後)のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。3

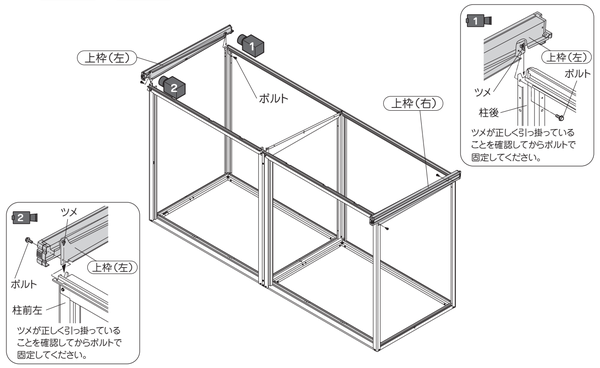


ワンポイント
上枠前は図のように柱前・中柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽にかいます。

8 上枠左右の取付け

使用梱包	LM5-0303
使用ボルト数	4本

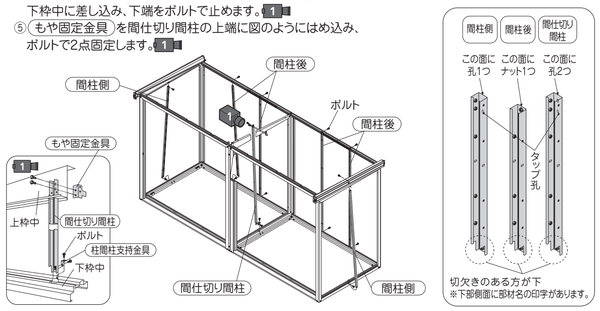
①(上枠(左))・(上枠(右))を柱に取付けます。1 2



9 間柱側・後・間仕切り間柱の取付け

使用梱包	LL5-0192
	LM5-1468
	LL5-1653
使用ボルト数	16本

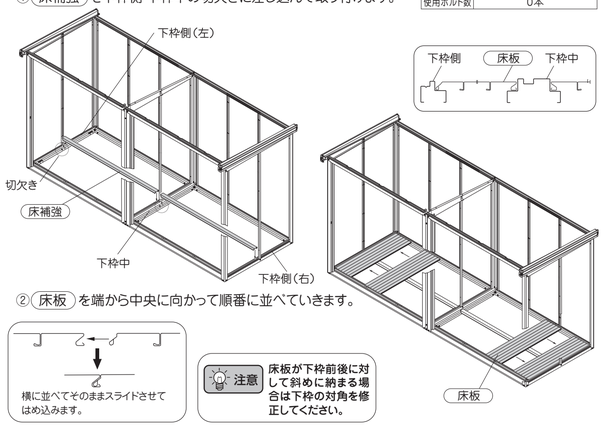
①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②(間柱側)も同様にして取付けます。
③(柱間柱支持金具)を(間仕切り間柱)の下端にボルトで取付けます。1
④間仕切り間柱の上側を上枠中の角孔に差し込み、次に下枠中に差し込み、下端をボルトで止めます。1
⑤(もや固定金具)を間仕切り間柱の上端に図のようにはめ込み、ボルトで2点固定します。1



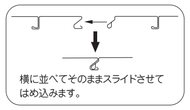
10 床の設置

	一般型	積雪型
使用梱包	LM5-0531	LM5-3531
	LM5-0715	
使用ボルト数	0本	

①(床補強)を下枠側・下枠中の切欠きに差し込んで取り付けます。



②(床板)を端から中央に向かって順番に並べていきます。

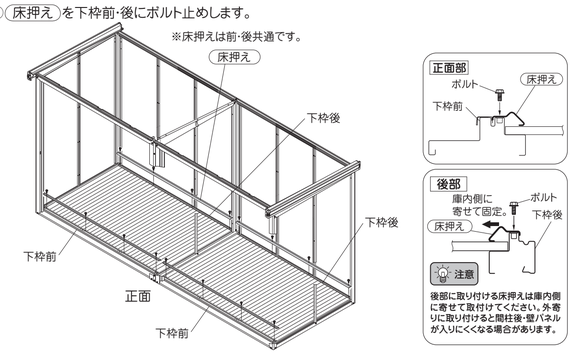


注意
床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

11 床押えの取付け

使用梱包	LM5-0255
使用ボルト数	16本

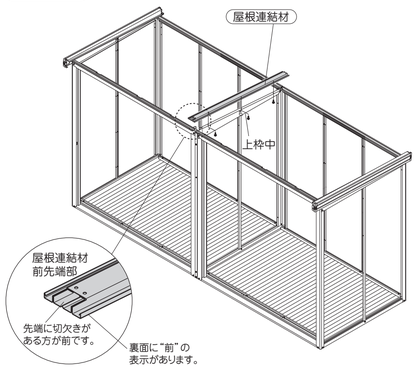
①(床押え)を下枠前・後にボルト止めします。

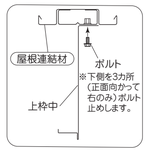


12 屋根連結材の取付け

使用梱包	LL5-1603
使用ボルト数	3本

①（屋根連結材）を上枠中に取付けます。



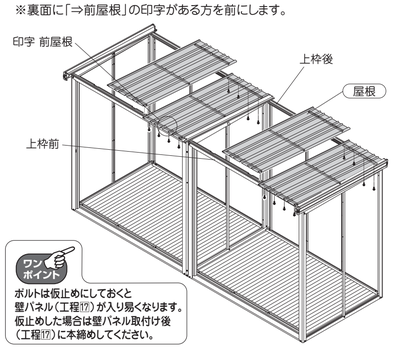


注意
屋根連結材には前後がありますので注意してください。

13 屋根の取付け

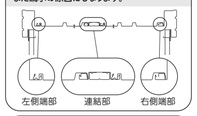
使用梱包	LM5-0924
使用ボルト数	48本

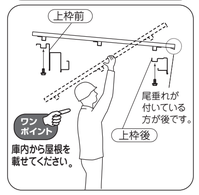
①（屋根）を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。
※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。



ワンポイント
ボルトは仮止めにしておくと壁パネル（工程⑰）が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後（工程⑰）に本締めしてください。

⚠注意
屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。
また漏水の原因にもなります。



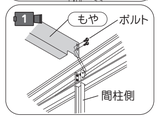


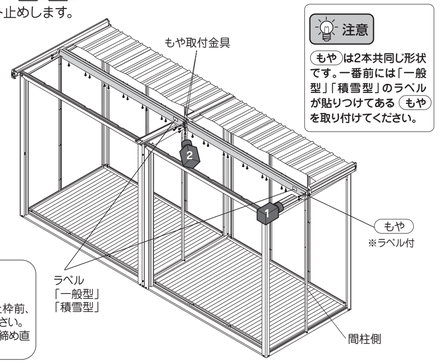
ワンポイント
庫内から屋根を載せてください。

14 もやの取付け

	一般型	積雪型
使用梱包	LM5-0531	LM5-3531
使用ボルト数	32本	

①（もや）を正面から間柱側・もや取付金具・間仕切り間柱に載せてボルト止めします。1 2
②（もや）と屋根をボルト止めします。





注意
（もや）は2本共同じ形状です。一番前には「一般型」「積雪型」のラベルが貼りつけてある（もや）を取り付けてください。

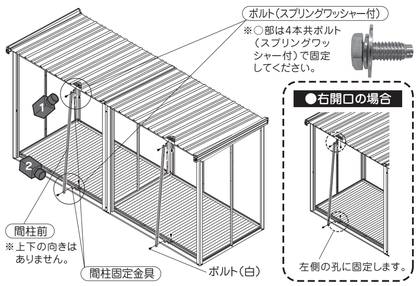
ワンポイント
屋根の乳が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

15 間柱前の取付け

使用梱包	LL5-0142 LL5-0192 LM5-0411 LL5-7405
使用ボルト数	8本

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて読み替えてください。

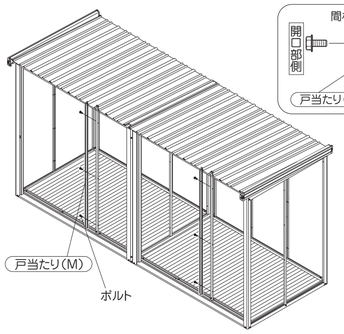
①（間柱固定金具）を上枠前、下枠前それぞれに差し込みボルト止めします。1 2
②（間柱前）の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。

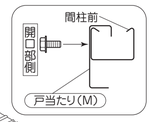


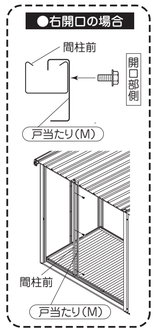
16 戸当たりの取付け

使用梱包	LM5-0411 LL5-7405
使用ボルト数	6本

①（戸当たり（M））を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。－工程㉑参照





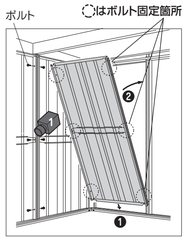


17 壁パネル・袖壁の取付け

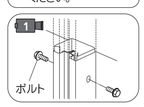
使用梱包	LM5-1003 LM5-1004 LM5-1055
使用ボルト数	84本

①室内から（壁パネル）・（袖壁パネル）をはめ込みます。1
（下を先に入れて上をはめ込みます。）
②柱・間柱にボルト止めします。

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

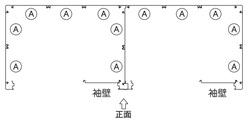


ワンポイント
ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

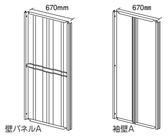


注意 壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付の角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの取付位置



壁パネルの種類

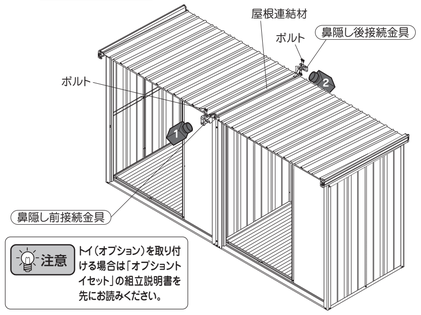


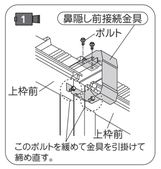
※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

18 鼻隠し接続金具の取付け

使用梱包	LL5-0192
使用ボルト数	6本

①（鼻隠し前接続金具）を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトを一旦ゆるめ、鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。1
②（鼻隠し後接続金具）を屋根連結材の後端部にボルト止めします。2



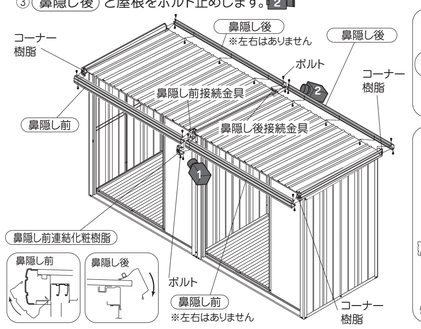


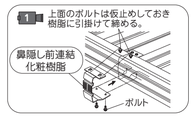
注意 トイ（オプション）を取り付ける場合は「オプションイセット」の組立説明書を先にお読みください。

19 鼻隠しの取付け

使用梱包	LM5-1105
使用ボルト数	22本

①（鼻隠し前）をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
連結部分は（鼻隠し前連結化粧樹脂）を上からかぶせてボルト止めします。1
②（鼻隠し後）をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
③（鼻隠し後）と屋根をボルト止めします。2



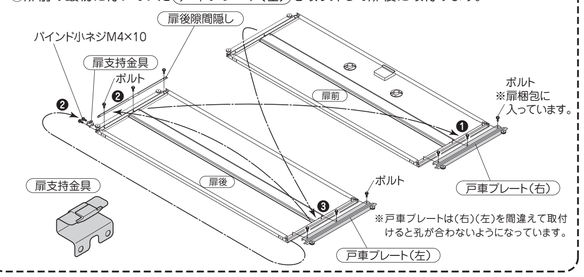


20 扉吊元変更（右開口に変更する場合のみ）

使用ボルト数	0本

注意 右側開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

①扉後から（戸車プレート（右））を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
②扉後の（扉後隙間隠し）（扉支持金具）を取り外して扉後の反対側に取付けます。
③扉前の最初に付いていた（戸車プレート（左））を取り外して扉後に取付けます。

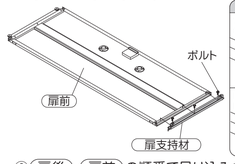


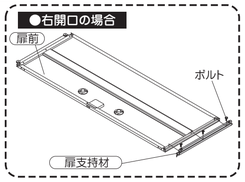
21 扉の吊り込み

注意 扉を吊り込む際は下枠前の上面に砂埃が無いことを確認してください。

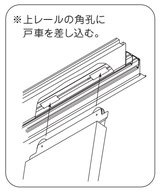
使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

①（扉支持材）を（扉前）に取り付けます。

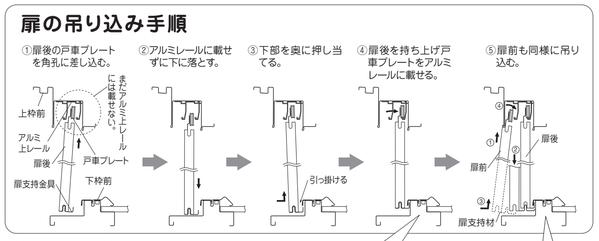




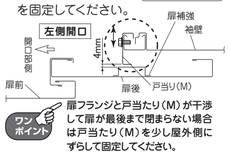
②（扉後）・（扉前）の順番で吊り込みます。



扉の吊り込み手順

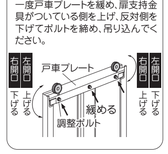


③（戸当たり（M））と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で（戸当たり（M））を固定してください。



ワンポイント
扉フランジと戸当たり（M）が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり（M）を少し屋外側にずらして固定してください。

扉後が吊り込みにくい場合は、
一度戸車プレートを緩め、扉支持金具がついている側を上げ、反対側を下げてボルトを締め、吊り込んでください。

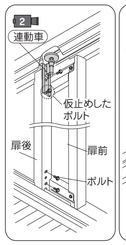


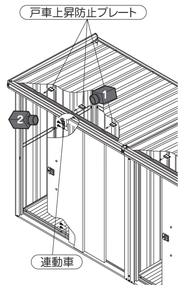
扉前が吊り込みにくい場合は、
扉支持材のボルト（3か所）を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

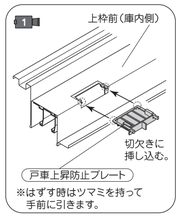
22 戸車上昇防止プレート・連動車の取付け

使用梱包	LL5-0142 LL5-0192
使用ボルト数	8本

①（戸車上昇防止プレート）を上枠前に取付けます。（6か所）1
②扉後の連動車取付け部下側の固定乳にボルトを仮止めします。
（ネジ部を5mm程度残してください）
③（連動車）のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。2
④（連動車）をボルトで固定します。（仮止めしたボルトも締め込んでください。）
⑤扉後下部のボルト孔を塞ぎます。







※はずす時はツマミを持って手前に引きます。

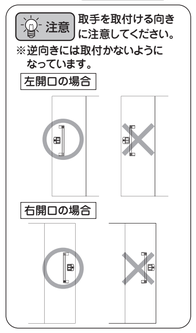
注意
戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを取外してください。

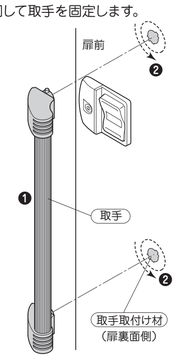
23 取手の取付け

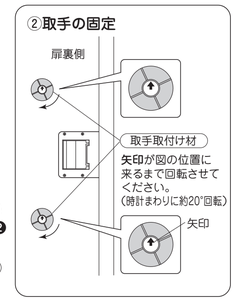
使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

①（取手）を扉前の取付け孔に差し込みます。
※向きがありますので注意してください。
②扉裏の（取手取付け材）を回して取手を固定します。

注意 取手を取付ける向きに注意してください。
※逆向きには取付かないようになっています。

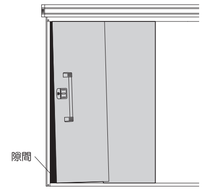


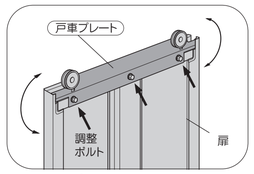




24 扉の建付け調整

①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、
戸車を固定しているボルト（調整ボルト）をゆるめて調整します。





注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

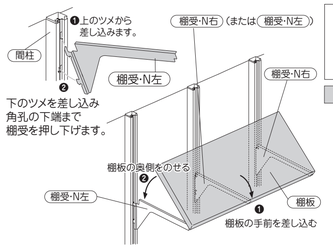
ワンポイント
ボルトをゆるめて庫内から扉を閉めて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

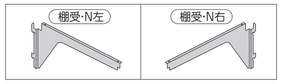
25 棚板の取付け

注意 棚板は制限重量を表示している面が正面に見えるように取付けてください。

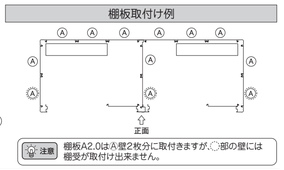
使用梱包	LM5-1903
使用ボルト数	0本

①（棚受）を図の様に壁パネルの角乳に差し込みます。
②（棚板）を棚受の先端に差し込んでから取付けます。（標準で棚板A2.0が1棚につき2枚付いています。）





棚板取付け例

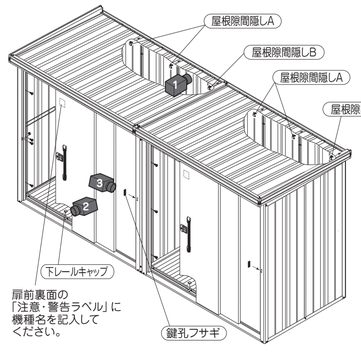


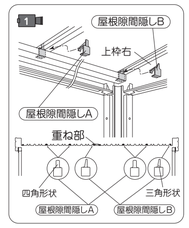
注意 棚板A2.0は△壁2枚分に取付きますが、◯部の壁には棚受が取付け出来ません。

26 その他部品の取付け

使用梱包	LL5-0142 LL5-0192
使用ボルト数	7(8)本+ナット1(2)個

①扉裏面の注意・警告ラベルに〝機種名〟を記入します。
②（屋根隙間隠しA）を上枠後の屋根の重ね部に、（屋根隙間隠しB）を上枠後の屋根と上枠右の重ね部、屋根と屋根連結材の重ね部に取付けます。1
③（下レールキャップ）を下枠前に取付けます。2
④（鍵乳フサギ）を袖壁側の柱前に取付けます。3
⑤柱前、中柱前の鍵がかかる方の乳をボルト（ナット）で塞ぎます。





お客様へ 取扱説明書、保証書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

LLD(S)-2215
ヨドコウ
淀川製鋼
（2020年B制作）